

## &lt;生活科学部&gt;

## 2019年度卒業論文題目

## 環境計画学

1. 買い物難民の暮らしの向上にむけて——移動スーパーとくし丸を事例として—— 指宿 葵
2. 子どもの成長を促す公園のあり方——木津川市内の公園の実地調査を通して—— 北 真侑
3. 京町家の継承に向けた実態把握 大塚あずさ
4. 京都府におけるこども食堂のあり方——こどもの孤食を解決するために—— 豊村菜々子

## 住生活学

1. 白色壁をもつ建築物ファサードの好ましい古さ感に関する研究 上築 千尋
2. カーテンの模様の色彩と照明が居間空間に与える影響——水玉模様のカーテンに着目して—— 金井まどか
3. 市松模様の色と模様の大きさが与える印象について——ギフトボックスを対象に——横井 綾乃
4. 木材の視覚・触覚における質感評価の違いについて 西尾 真由
5. LED 照明条件の違いが化粧肌の見えの好ましさに与える影響——リップカラーに着目して—— 芝 菜々子
6. 世界のタイルデザインとその魅力 倉地 美沙

## 児童文化

1. 『秘密の花園』で起った「魔法」——植物と共に育ち、成長を遂げる私たち—— 天島 祐波
2. 『この世界の片隅に』と私——呉から見たヒロシマ・その時を生きた人々—— 阿須賀 桜
3. ルーシーの心の相談室から学ぶ人生観——漫画『PEANUTS』が教えてくれること——平山 理奈
4. 刀と女性——『刀剣乱舞』が生み出した刀への関心の変化—— 北村 春菜
5. いじめ問題から考える教室づくり——「声に出せる人」を増やすために—— 古賀 栞
6. 『週刊少年ジャンプ』の中の異能者——彼らの物語が居場所となる—— 宮谷 由
7. 「アリス」とは誰か——現代社会のアリス達

——

元木 里穂

8. 『未来のミライ』から考える「時をかける」ということ——過去を辿り未来へつなぐ—— 中島 千里
9. 『ゲゲゲの鬼太郎』から読み解く妖怪の世界——「見えないもの」の変化と歴史—— 太田 絢野
10. ディズニープリンセスから見る女性像の変化——「女」として今を生きるということ—— 佐藤 早穂

## 都市空間

1. 海の京都観光圏における現状と課題 堀 さくら
2. 京都市内の商店街のまちづくりにおける役割に関する研究——地域コミュニティ機能に着目して—— 岡 佑香
3. 自主防災から見た住宅地における地域ボランティアの役割と重要性——千葉県印旛郡栄町安食台3丁目を事例として—— 前野 友里
4. 京都市における観光と住民生活の両立——京都市の観光施策と姉小路の取り組みから—— 小林 妙栄
5. 歴史文化型都市におけるオーバーツーリズムの研究——京都を事例として—— 浜井 玲奈
6. 歴史的変遷からみる水都大阪の水辺利用に関する研究 篠田菜々子
7. 京都におけるゲストハウスの可能性に関する研究——京都市左京区のゲストハウスを事例として—— 水上 理恵
8. コミュニティに愛される滋賀県の公立図書館における現状と課題 太田 帆夏
9. 学生主体のまちづくりイベントが地域に及ぼす影響——京都市西陣地域の「都ライト」を事例として—— 野本亜理紗
10. 竹富島の景観保全の課題——生活環境・観光資源・文化財の三つの価値から—— 戸田 菜摘
11. 宝塚駅周辺の景観の変遷——温泉の街から歌劇の街への発展を追って—— 林 有莉

## 服飾文化

1. 現代におけるヘアカラーの変遷——1995年から現在まで—— 磯部 夏帆
2. アメリカドラマ『SEX AND THE CITY』『GOSSIP GIRL』のファッション——キャラクターの表現—— 織田 千尋
3. 韓国コスメの日本における受容 杉 奈津花
4. ヴィヴィアン・ウエストウッドのパンク精神——柄・模様を中心に—— 嶋田 悠里
5. 真珠のこれまでと今——雑誌『Precious』の調査を通して—— 遠山 菜緒
6. ファストファッションの楽しみ方——イン스타그램を通して—— 山口 葉子
7. フィギュアスケートにおける衣装の役割 市田侑莉菜
8. ニューヨークファッションの創造力——「Advanced Style」と「Bill Cunningham」を通して—— 野瀬 美月
9. マリメッコにおける日本人デザイナーの獨創性 高原 杏実
10. スーツの価値観——その変遷と最先端の着こなし—— 吉岡 葵

## 被服学

1. 世界に羽ばたくグローバルアイドルへ——韓服からデザインする衣装—— 北川美沙希
2. 持続可能な社会の視点から考える家庭科——Tシャツを用いたりメイク教材の提案—— 松田 幸
3. 女性らしい美しさの魅力を探る——現代女性が求める美しさを反映したドレスの提案—— 饒平名歩未
4. 親子が対話を楽しめるオフィスカジュアルな衣服の提案 湊 亜樹
5. 季節感を表現する衣服提案——桜をアイデアソースに—— 伊藤 綾絵
6. 未来に継承したい丹波布と手仕事の魅力——現代を生きる人々に向けた魅力の発信—— 竹中 環
7. グローバル社会における新しい浴衣デザインの提案——ポルトガルのアンブレラスカイプロジェクトをアイデアソースに—— 桑田みなも
8. ジェンダーフリーな小学生の制服提案——多様社会における「個性」を育む—— 山崎 朋香

9. 韓服の魅力を映し出す現代ファッションスタイルの提案 川添 詩織
10. リミックスファッションの可能性を探る——20世紀×旗袍—— 長谷川珠実
11. ファッションアイテムとしてのブラジャーの魅力——日本人女性のための見せブラの提案—— 藤原 海音

## 社会心理学

1. 日常生活における孤独感がペットに対する態度におよぼす影響 城山 智晴
2. 超常現象観が宗教意識および宗教的行為におよぼす影響——女子大学生の場合—— 大島有梨沙
3. ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに関する現場研究——日常空間から虚構空間へ—— 田中由希乃・山本 恵理
4. 対人ストレスコーピングが大学における居場所感覚の形成におよぼす影響——女子大学生の場合—— 岡野 仁美
5. 両親への態度・行動がファン態度・ファン行動におよぼす影響 岡田 紗南
6. 心理的 well-being が SNS における居場所感覚におよぼす影響——女子大学生の場合—— 木ノ下晴菜
7. 日常生活における自己意識傾向および同性同輩との身体部位比較が化粧リスク懸念に与える影響 長谷川菜友
8. ホースセラピーの現状と心理学的役割の考察——現場観察を中心に—— 横木菜々子

## 家族福祉学

1. 児童館における子育て支援のあり方——乳幼児期の子どもを持つ母親と職員へのヒアリング調査から考える—— 中川 優花
2. ネグレクトによる愛着障害に対する福祉的アプローチ——私たちにできること—— 西口 純令
3. 自然体験教育における野外炊事的重要性——「同志社ワーキングコーラス」での活動を踏まえて—— 宮崎 紗衣
4. 絵本と子どもの成長——ヒアリング調査を通して—— 藪谷 実那
5. 子ども虐待の早期発見と予防の視点 堀内 直香

## 生 命 倫 理 学

1. 伝える力の可能性——コミュニケーションを再  
認知する—— 大畑 有未
2. 老いることに価値を見出す——嫌老から恵老へ  
—— 隅田 朱音
3. 髪色による自己主張の確立——黒髪美学の根源  
を辿り—— 西川 知萌
4. 醜形恐怖症からの脱却——等身大の自己との和  
解—— 金田 千明
5. 自分の「居場所」を考える——集団における人  
間関係の序列から—— 山田 萌奈
6. 他者と共鳴する死——私的所有へ閉塞した死に  
対抗し—— 三宅 千裕
7. 母親過多からみる親子関係の弊害——毒親にな  
らないための提案—— 山内 美波
8. 視覚情報の飽和——ネット社会の弊害——  
小林 有紀
9. 教育協働態における自己と他者の相互受容——  
家庭科教育の可能性をみつめて—— 吉田 結愛
10. 韓国における完成美——日本を比較対象として  
—— 富高 優依
11. 主体性のある余暇——「休む」ことから考える  
日本人の幸福—— 三本木愛実

## 臨床栄養管理学

1. 血液透析患者（HD 患者）における食生活と栄  
養状態・血液検査の関係——偏食と孤食に注目  
して—— 仲尾 美音・西垣 佳乃
2. 血液透析患者（HD 患者）における食事調査  
——食塩摂取量に注目して—— 鎌田 華子
3. 女子学生における血中 Hb 値、骨格筋量と運動  
効率との関係 牧 香澄・吉田茉美花
4. 糖尿病胃全摘術後の血糖管理におけるインスリ  
ン使用症例と不使用症例の経験 臼井 美緒
5. 大腸癌術後患者に対しての地域包括ケア病棟で  
の栄養管理の検討 嶋田 加奈
6. 女子大学生における出生時体重と乳幼児期の発  
育が現在の体組成に及ぼす影響  
井上あずさ・川口 茉莉・首藤 暦

## 食 品 栄 養 学

1. 冷温受容体の感受性に着目した冷えを形成する  
要因の解析 広瀬 純菜・市原 千里  
喜多乃恵留・田中 千晶

## 2. 硫黄化合物の末梢体温調節機能への影響

宮本彩友美・宮本 若奈・長塩 真菜

## 3. 食品成分の摂取による冷温受容体への刺激がエ ネルギー代謝に及ぼす影響

米田 奈央・湯浅佳奈子

## 4. 低カロリー甘味料の摂取が脂質代謝に与える影 響

砂川 沙織

## 公 衆 栄 養 学

1. 健康管理アプリの改良、利用状況の把握及びそ  
の有用性の検討 上垣 結衣・山本久瑠未
2. 高齢者サークルに対する健康づくり支援とその  
効果の検討 児島 由奈・大石葉々子
3. 食育カルタやお便り等による園児及び保護者の  
食意識の変化について  
平野 侑花・中村麻奈美・堤本 真衣
4. 大学生がサポートする小学校での食育活動の有  
効性 橋本 瑞紀・岩堀 和子・安間 七菜

## 実 践 栄 養 学

1. 小学生における朝食の栄養バランスに関連する  
要因の検討  
村井つかさ・村瀬 成美・西内 優香
2. 調理を促す食育介入プログラムによる朝食内容  
の変化について 谷村 彩花・安井 歆菜
3. 腹部大動脈瘤の発症予防に関連する食品摂取パ  
ターンの検討  
金井 里英・松原 亜希・大田香緒里
4. 高齢者施設での活用を目的とした調理食品のか  
たさの簡易評価方法 窪田 沙代・佐野 千春

## 公 衆 衛 生 学

1. 赤ワインの無機元素分析による産地判別方法の  
開発 池原麻衣子・樋口 瑞紀・西野 愛理
2. ロコモティブシンドローム関連のサプリメント  
摂取によるミネラル過剰摂取の可能性  
長谷川千尋・中川 歩
3. 秤量法と陰膳法および調理前後でのミネラル量  
の比較 塚田 彩乃・近藤優莉菜
4. 食事中の吸収促進・阻害因子がミネラルの1日  
尿中排泄率に及ぼす影響——ミネラル摂取量の  
モニタリング指標としての1日尿中排泄量の有  
効性—— 小田 彩夏・齋藤 愛・佐藤 葵

＜生活科学部卒業論文題目＞

食 品 加 工 学

1. 運動による高齢者の味覚閾値の変化について  
川久保綾乃
2.  $\beta$ 化-抑制酵素による米飯物性向上のメカニズムについて 松岡 智美・大久保七海・辰巳 百花
3. 最大抗酸化能（ヒドロキシラジカルを指標として）を発揮するデキストラン修飾鶏筋原線維タンパク質のランダムセントロイド最適化法を用いた調製条件の検索（第2報）  
長谷川京加・高橋佳菜子
4. 最大抗酸化能（ヒドロキシラジカルを指標として）を発揮するデキストラン修飾鶏筋原線維タンパク質のランダムセントロイド最適化法を用いた調製条件の検索（第3報）——pHの検討——  
増田夏菜子・豊田 真子・渡邊 光

食 品 機 能 学

1.  $\beta$ -クリプトキサンチン製造のためのカンキツ未利用資源の有効活用について  
木村 百花・吉川 実李
2. インスリン抵抗性指標を用いた2型糖尿病発症リスクの予測  
河邊 美柚
3. サイトカイン類と生活習慣病との関連性の検証  
込山理沙子
4. ウンシュウミカンにおけるフラボノイド含有量と糖度及び重量の相関性  
丸尾 せり・森川 牧・村上 佳代
5. HepG2細胞を用いた肝障害モデルに対するカンキツ機能性成分の抑制効果  
藤原 れみ
6. シクロデキストリンを用いたカロテノイドの可溶化の検討  
梶谷 歩美・緒方 智子

調 理 学

1. 完熟梅ピューレの調理特性——スポンジケーキへの応用——  
墨田 萌・竹内 菜緒  
津田萌々音・山田 未緒
2. 冷凍処理がダイコンの味の浸透に及ぼす影響  
平尾 優貴・柴田安里紗・田中 佳奈

食 品 物 性 学

1. 熱水糊化された希薄米澱粉分散液の等温粘度増大過程に及ぼす澱粉濃度の影響——レオロジー的協同性発現の粒内起源と粒間相互作用による低減—— 中山 幸香・田村 優芽・丹下 日咲

2. 低温 NaOH 糊化された希薄米澱粉分散液の粘度増大過程に及ぼす澱粉濃度の影響——レオロジー的孤立性の粒内起源と粒間相互作用による低減——  
岩瀬 瑞紀・片山 純佳  
安田笑美子・吉崎 伶海

調 理 科 学

1. チキン・ブイヨンの減塩効果に関与する物質の検索  
堅東 祐貴・前田 風海
2. 嚥下調整食における米酵素含浸法の有効性の検証  
樫八重望美・中西 美紀
3. 和食における煮汁の香りが塩味に及ぼす影響  
治郎丸伊津美・松井くるみ・大川 夕奈

給食経営管理学

1. マーケティング・プロセスを活用したランチメニュー開発——女子中高食堂における検討——  
荒木 瑞穂・後藤祐希菜  
近藤万里菜・桑井 理穂
2. 高齢者施設給食における食材料の違いが利用者の喫食率に及ぼす影響  
古川花菜子・武村 佳奈・刀祢 沙紀
3. 従業員食堂における定食の特徴把握と新メニューの考案 和田 春菜・和田 弥侑・柳下 朋香

運 動 生 理 学

1. 服装の異なるウォーキングとスポーツウェアでのジョギングが心身に及ぼす影響および和菓子の提案  
榎木友里絵・日下 芽依  
小川 紗穂・清水 紗英
2. 一般女子学生の体力と睡眠に及ぼすヨガトレーニングの効果  
三牧 葉月・江原 美帆・藤原かおり  
町野 風・西尾 風香

生 化 学

1. 遺伝子組換え抗プロスタグランジン  $E_2$  単鎖抗体の大腸菌を用いた大量発現系の確立  
大田 奈々・坂口 暁子  
杉山 由佳・寺村 美紀
2. 高脂肪食投与マウスにおいて運動頻度が脂質代謝関連遺伝子発現に与える影響  
赤崎 優香・小湊 彩佳・森田 彩加
3. 非肥満マウスにおける“ケトジェニックダイエ

ット”の有効性の検討

堀井 星来・小材真智子・高田 晴菜

2. リンゴ自家培養発酵種および発酵種から調製した中種のマイクロフロー解析

安藤ちひろ・石井 舞花

呉原かれん・上田 彩香

#### 食品微生物学

1. 3種類の *Bifidobacterium* 属菌の増殖に及ぼす緑茶溶液の *in vitro* での影響

樋元 未来・山崎 詩穂・山内望百香

3. 培地組成の異なる黒酵母由来多糖の分子量の違い  
風見 早紀・宗宮 奈々・山崎南々帆